

令和8年4-6月期中小企業景気動向調査結果

業況DIは2.0ポイントの上昇

公益財団法人神奈川産業振興センター（KIP）が四半期ごとに実施している「中小企業景気動向調査」の令和8年4-6月期の調査結果をまとめましたので、ご報告いたします。

1. 調査要領

- ・調査時期：令和8年5月
- ・調査対象：神奈川県内中小企業2,000社
- ・回答数（率）：910社（45.5%） ※詳細は下記の通り
- ・調査方法：調査対象へ郵送
- ・分析方法：DI（Diffusion Index）※による分析

※業況等について「良い」と回答した企業の割合から「悪い」と回答した企業の割合を引いた数値

区分	送付数	回答数	回答率（%）
製造業	550	314	57.1%
建設業	250	123	49.2%
商業・サービス業 （卸売業、小売業、飲食店、サービス業）	1,200	473	39.4%
合計	2,000	910	45.5%

2. 調査結果

（1）総合

	令和7年		令和8年			
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期 見込	10-12月期 見込
業況DI	▲25.1	▲23.1	▲20.5	▲18.5	▲30.4	▲31.9
売上DI	▲12.3	▲9.2	▲15.8	▲11.1	—	—
採算DI	▲23.8	▲23.2	▲22.9	▲26.8	—	—

総合の業況DIは、前期比2.0ポイント上昇の▲18.5となった。

経営状況では、売上DIは前期比4.7ポイント上昇の▲11.1、また、採算DIは同3.9ポイント低下の▲26.8となった。

今後の業況DIを見ると、3か月後は現在比11.9ポイント低下の▲30.4、半年後は同13.4ポイント低下の▲31.9を見込んでいる。

（2）業種別特徴

<製造業>

	令和7年		令和8年			
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期 見込	10-12月期 見込
業況DI	▲25.2	▲17.4	▲15.7	▲12.1	▲21.7	▲24.7
売上DI	▲8.3	▲0.3	▲9.6	▲4.5	—	—
採算DI	▲17.2	▲12.9	▲19.7	▲18.5	—	—

製造業の今期の業況DIは、前期比3.6ポイント上昇の▲12.1となった。

経営状況では、売上DIは、前期比5.1ポイント上昇の▲4.5、採算DIは同1.2ポイント上昇の▲18.5となった。

「円安で海外からの受注好調。」「半導体業界の好調から多くの案件を受注できている。」

「人件費、石油製品、機械工具の値上がりが著しく、コスト上昇が受注単価の値上がり分を超えている。今後も更なるコスト上昇が懸念される。」といった声も聞かれた。

今後の業況DIは、3か月後は現在比9.6ポイント低下の▲21.7、半年後は同12.6ポイント低下の▲24.7を見込んでおり、「中東情勢の影響で材料が軒並み値上がりしている為、先の予想は不透明。」「受注残が増加しており、今後の見通しは良い。」「塗装が制限されるなど石油関連の影響が出ている。資材価格や人件費上昇は利益を圧迫している。仕事はあるが今後の採算見通しは暗い。」といった声も聞かれた。

なお、製造業の中分類の業況DIは以下の通り。

	令和7年		令和8年			
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期 見込	10-12月期 見込
一般機械	▲28.9	▲15.3	▲8.3	▲12.0	▲18.1	▲24.1
電気機械	▲18.2	▲8.5	▲9.6	▲9.1	▲12.1	▲9.1
輸送用機械	▲10.6	▲6.1	0.0	▲2.1	▲8.5	▲10.9
その他	▲32.5	▲29.1	▲31.9	▲17.8	▲35.0	▲39.3

中分類で見ると、一般機械は前期比3.7ポイント低下の▲12.0、電気機械は同0.5ポイント上昇の▲9.1、輸送用機械は同2.1ポイント低下の▲2.1となった。

今後の業況DIは、3か月後は一般機械が現在比6.1ポイント低下の▲18.1、電気機械が同3.0ポイント低下の▲12.1、輸送用機械は同6.4ポイント低下の▲8.5、半年後は一般機械が同12.1ポイント低下の▲24.1、電気機械が今期と同値の▲9.1、輸送用機械は同8.8ポイント低下の▲10.9を見込んでいる。

< 建設業 >

	令和7年		令和8年			
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期 見込	10-12月期 見込
業況DI	4.1	▲2.6	▲2.5	▲8.1	▲26.0	▲27.0
売上DI	2.5	▲1.8	1.7	▲26.0	—	—
採算DI	▲0.8	▲16.1	▲10.8	▲27.6	—	—

建設業の今期の業況DIは、前期比5.6ポイント低下の▲8.1となった。

経営状況では、売上DIは前期比27.7ポイント低下の▲26.0、採算DIは同16.8ポイント低下の▲27.6となった。

「水道設備用の材料の入荷がなく、仕事が進まない。」「人手不足からの受注減による売上減。親会社からも、この理由から仕事量が大幅減になっている。」「ここまでは良かったが、ナフサで材料が止まり、一気に仕事が減った。」といった声も聞かれた。

今後の業況DIは、3か月後は現在比17.9ポイント低下の▲26.0、半年後は同18.9ポイント低下の▲27.0を見込んでおり、「今後、原材料費の高騰、供給不足が見込まれることから、工事の進捗に影響が出る可能性あり。」「中東情勢の影響で材料の単価が、かなり上がっていて、今後どうなるか不安。」といった声も聞かれた。

< 商業・サービス業 >

	令和7年		令和8年			
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期 見込	10-12月期 見込
業況DI	▲32.2	▲32.0	▲28.5	▲25.4	▲37.3	▲37.9
売上DI	▲18.6	▲17.2	▲24.4	▲11.7	—	—
採算DI	▲33.9	▲32.2	▲28.1	▲32.0	—	—

商業・サービス業の業況DIは、前期比3.1ポイント上昇の▲25.4となった。

経営状況では、売上DIは前期比12.7ポイント上昇の▲11.7、採算DIは同3.9ポイント低下の▲32.0となった。「店舗出店や、催事出店により売上はアップ。他店舗のマイナスを補う形になっている。」「少子化による採用難が顕著に出ている。」「仕入れ価格が高くなっているが、値上げをしたので何とかなっている。この先、お客様が減ってしまうと厳しい。」「物価高や最低賃金の上昇に加え、社会保険料や消費税、法人税等の徴収により、先行きの経営は益々逼迫せざるを得ない。」といった声も聞かれた。

今後の業況DIは、3か月後は現在比11.9ポイント低下の▲37.3、半年後は同12.5ポイント低下の▲37.9を見込んでいる。「材料や仕入れ品不足が始まっていて、この先どうなっていくのか不安です。」「天候の影響に大きく左右されるので見通しは天気次第。近年の世界的な異常気象で今期も入荷量の減少が懸念される。」「仕入れ価格の上昇により、利益率は悪くなる見通し。」といった声も聞かれた。

なお、商業・サービス業の各々の業況DIは以下の通り。

	令和7年		令和8年			
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期 見込	10-12月期 見込
卸売業	▲30.0	▲33.7	▲30.8	▲22.1	▲36.6	▲32.3
小売業	▲41.0	▲41.5	▲39.2	▲34.0	▲49.2	▲48.4
飲食店	▲24.2	▲27.7	▲31.7	▲22.4	▲24.1	▲28.1
サービス業	▲24.6	▲18.5	▲9.4	▲15.9	▲25.6	▲30.4

業種別では、卸売業は前期比8.7ポイント上昇の▲22.1、小売業は同5.2ポイント上昇の▲34.0、飲食店は同9.3ポイント上昇の▲22.4、サービス業は同6.5ポイント低下の▲15.9となった。

今後の業況DIは、3か月後では卸売業が現在比14.5ポイント低下の▲36.6、小売業は同15.2ポイント低下の▲49.2、飲食店は同1.7ポイント低下の▲24.1、サービス業は同9.7ポイント低下の▲25.6、半年後では卸売業が同10.2ポイント低下の▲32.3、小売業は同14.4ポイント低下の▲48.4、飲食店は同5.7ポイント低下の▲28.1、サービス業は同14.5ポイント低下の▲30.4を見込んでいる。

(3) 規模別特徴

		令和7年		令和8年			
		7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期 見込	10-12月期 見込
中規模	業況DI	▲17.4	▲18.0	▲11.0	▲7.9	▲23.3	▲25.9
	売上DI	▲5.8	▲1.5	▲6.3	▲2.5	—	—
	採算DI	▲20.4	▲20.0	▲15.2	▲20.3	—	—
小規模	業況DI	▲34.0	▲28.9	▲31.5	▲30.5	▲38.4	▲38.6
	売上DI	▲19.9	▲18.0	▲26.5	▲20.9	—	—
	採算DI	▲27.9	▲27.0	▲31.6	▲34.1	—	—

規模別の業況DIは、中規模企業は前期比3.1ポイント上昇の▲7.9、小規模企業は同1.0ポイント上昇の▲30.5となった。

経営状況では、中規模企業は売上DIが前期比3.8ポイント上昇の▲2.5、採算DIが同5.1ポイント低下の▲20.3、小規模企業は売上DIが同5.6ポイント上昇の▲20.9、採算DIが同2.5ポイント低下の▲34.1となった。

今後の業況DIについては、中規模企業は3か月後が現在比15.4ポイント低下の▲23.3、半年後が同18.0ポイント低下の▲25.9、小規模企業は3か月後が同7.9ポイント低下の▲38.4、半年後が同8.1ポイント低下の▲38.6を見込んでいる。

(4) 地区別特徴（業況DI）

	令和7年		令和8年			
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期 見込	10-12月期 見込
横浜	▲20.8	▲24.3	▲18.5	▲21.4	▲31.3	▲31.5
川崎	▲27.6	▲17.9	▲10.5	▲12.8	▲28.8	▲32.1
横須賀	▲17.2	▲29.2	▲15.9	▲18.1	▲29.3	▲34.1
平塚	▲41.7	▲27.4	▲27.4	▲26.7	▲40.0	▲46.7
藤沢	▲18.6	▲17.0	▲23.0	▲16.2	▲26.5	▲25.5
相模原	▲28.4	▲28.0	▲21.5	▲25.6	▲29.5	▲28.6
厚木	▲22.7	▲21.9	▲20.8	▲10.4	▲23.2	▲26.3
足柄上・西湘	▲29.2	▲19.8	▲32.6	▲16.5	▲34.0	▲31.3

今期の地区別の業況DIは、

横浜地区（前期比2.9ポイント低下の▲21.4）、川崎地区（同2.3ポイント低下の▲12.8）、横須賀地区（同2.2ポイント低下の▲18.1）、平塚地区（同0.7ポイント上昇の▲26.7）、藤沢地区（同6.8ポイント上昇の▲16.2）、相模原地区（同4.1ポイント低下の▲25.6）、厚木地区（同10.4ポイント上昇の▲10.4）、足柄上・西湘地区（同16.1ポイント上昇の▲16.5）となり4地区で上昇し、4地区で低下となった。

今後の業況DIは、3か月後は、

横浜地区（現在比9.9ポイント低下の▲31.3）、川崎地区（同16.0ポイント低下の▲28.8）、横須賀地区（同11.2ポイント低下の▲29.3）、平塚地区（同13.3ポイント低下の▲40.0）、藤沢地区（同10.3ポイント低下の▲26.5）、相模原地区（同3.9ポイント低下の▲29.5）、厚木地区（同12.8ポイント低下の▲23.2）、足柄上・西湘地区（同17.5ポイント低下の▲34.0）となり8地区全てで低下すると見込んでいる。

半年後は、

横浜地区（現在比10.1ポイント低下の▲31.5）、川崎地区（同19.3ポイント低下の▲32.1）、横須賀地区（同16.0ポイント低下の▲34.1）、平塚地区（同20.0ポイント低下の▲46.7）、藤沢地区（同9.3ポイント低下の▲25.5）、相模原地区（同3.0ポイント低下の▲28.6）、厚木地区（同15.9ポイント低下の▲26.3）、足柄上・西湘地区（同14.8ポイント低下の▲31.3）となり8地区全てで低下すると見込んでいる。

▼本件に関するお問い合わせ先

（公財）神奈川産業振興センター（KIP）

（Kanagawa Industrial Promotion Center）

総務部 企画広報課 佐川・徳田

TEL:045-633-5101 FAX:045-633-5018

URL <https://www.kipc.or.jp/> E-mail:kikaku@kipc.or.jp

景気動向調査 (令和8年4月～6月期)

業種別DI表

		製造業	建設業	商業・サービス業					総合
				卸売業	小売業	飲食店	サービス業	小計	
回収数		314	123	95	194	58	126	473	910
業況判断	現在の業況	▲12.1	▲8.1	▲22.1	▲34.0	▲22.4	▲15.9	▲25.4	▲18.5
	3ヶ月後の業況	▲21.7	▲26.0	▲36.6	▲49.2	▲24.1	▲25.6	▲37.3	▲30.4
	半年後の業況	▲24.7	▲27.0	▲32.3	▲48.4	▲28.1	▲30.4	▲37.9	▲31.9
経営状況	売上	▲4.5	▲26.0	▲6.3	▲16.7	▲5.2	▲11.1	▲11.7	▲11.1
	採算	▲18.5	▲27.6	▲21.1	▲42.0	▲43.1	▲19.8	▲32.0	▲26.8
	引き合い／客数	▲4.1	▲9.8	▲13.8	▲33.7	▲29.3	▲7.1	▲22.1	▲14.2
	単価	24.9	33.6	15.8	▲9.3	3.4	13.6	3.4	14.9
	仕入価格	▲79.3	▲85.4	▲75.8	▲83.4	▲86.2	▲68.5	▲78.3	▲79.6
	資金繰り	▲17.6	▲13.8	▲23.2	▲33.0	▲36.2	▲20.2	▲28.0	▲22.5
	残業	▲3.5	▲9.8	▲13.7	▲10.5	▲14.0	▲6.4	▲10.5	▲8.0
	設備稼働	▲5.4	▲5.7	—	—	—	—	—	▲5.5
前期経営実績	売上水準	▲1.3	9.8	▲7.4	▲28.9	▲14.0	▲11.1	▲18.0	▲8.5
	利益水準	16.0	30.1	12.6	▲17.1	▲20.7	6.3	▲5.3	6.8
	在庫	7.3	▲0.8	8.4	2.1	1.7	▲6.6	1.1	3.0
	投資	▲2.9	▲4.9	▲10.8	▲14.7	▲13.8	▲9.8	▲12.5	▲8.1
	雇用状況	▲21.9	▲46.3	▲20.0	▲20.0	▲34.5	▲34.7	▲25.7	▲27.2

参考＜前回調査＞ 景気動向調査 (令和8年1月～3月期)

		製造業	建設業	商業・サービス業					総合
				卸売業	小売業	飲食店	サービス業	小計	
回収数		318	122	91	190	63	127	471	911
業況判断	現在の業況	▲15.7	▲2.5	▲30.8	▲39.2	▲31.7	▲9.4	▲28.5	▲20.5
	3ヶ月後の業況	▲13.5	▲10.7	▲39.3	▲38.8	▲21.0	▲13.5	▲29.7	▲21.5
	半年後の業況	▲10.7	▲10.7	▲38.2	▲43.1	▲16.1	▲20.0	▲32.3	▲21.8
経営状況	売上	▲9.6	1.7	▲31.5	▲32.3	▲20.6	▲9.4	▲24.4	▲15.8
	採算	▲19.7	▲10.8	▲21.3	▲34.6	▲47.6	▲13.4	▲28.1	▲22.9
	引き合い／客数	▲4.8	3.4	▲13.5	▲34.8	▲34.9	▲9.4	▲23.8	▲13.6
	単価	20.1	19.2	2.2	▲11.8	19.4	7.1	0.2	9.7
	仕入価格	▲65.0	▲75.0	▲56.7	▲74.3	▲90.5	▲59.5	▲69.1	▲68.4
	資金繰り	▲18.8	▲12.5	▲20.0	▲32.3	▲38.1	▲22.0	▲27.9	▲22.7
	残業	▲4.5	▲7.6	▲13.3	▲14.8	▲11.5	▲10.3	▲12.8	▲9.2
	設備稼働	▲6.4	2.5	—	—	—	—	—	▲3.9
前期経営実績	売上水準	▲5.1	▲0.8	▲12.2	▲29.6	▲12.9	▲7.1	▲17.8	▲11.1
	利益水準	11.5	14.2	5.6	▲18.3	▲9.7	▲1.6	▲8.0	1.8
	在庫	8.7	4.3	11.1	▲0.5	3.2	▲9.0	0.0	3.6
	投資	▲1.6	▲1.7	▲12.4	▲11.8	▲11.1	▲4.1	▲9.7	▲5.8
	雇用状況	▲25.8	▲48.3	▲22.2	▲21.9	▲27.4	▲40.5	▲27.8	▲29.8

規模別DI表

		製造業		建設業		商業・サービス業		総合	
		中規模企業	小規模企業	中規模企業	小規模企業	中規模企業	小規模企業	中規模企業	小規模企業
回収数		158	156	60	63	266	207	484	426
業 況 判 断	現在の業況	1.9	▲26.3	1.7	▲17.5	▲15.8	▲37.7	▲7.9	▲30.5
	3ヶ月後の業況	▲13.4	▲30.1	▲20.0	▲31.7	▲29.9	▲46.8	▲23.3	▲38.4
	半年後の業況	▲19.9	▲29.5	▲20.0	▲33.9	▲30.8	▲47.1	▲25.9	▲38.6
経 営 状 況	売上	5.7	▲14.7	▲16.7	▲34.9	▲4.2	▲21.4	▲2.5	▲20.9
	採算	▲10.8	▲26.3	▲23.3	▲31.7	▲25.2	▲40.8	▲20.3	▲34.1
	引き合い／客数	6.3	▲14.7	0.0	▲19.0	▲16.2	▲29.8	▲6.8	▲22.6
	単価	33.5	16.1	38.3	29.0	11.3	▲6.8	21.9	6.8
	仕入価格	▲82.3	▲76.3	▲81.7	▲88.9	▲77.3	▲79.6	▲79.5	▲79.8
	資金繰り	▲13.3	▲21.9	▲13.3	▲14.3	▲26.4	▲30.1	▲20.5	▲24.8
	残業	3.8	▲11.0	▲13.3	▲6.5	▲10.3	▲10.7	▲6.0	▲10.2
	設備稼働	5.7	▲16.9	▲5.0	▲6.5	—	—	2.8	▲13.9
前 期 経 営 実 績	売上水準	14.6	▲17.4	0.0	19.0	▲12.1	▲25.6	▲1.9	▲16.0
	利益水準	35.4	▲3.9	40.0	20.6	8.3	▲22.7	21.1	▲9.4
	在庫	9.5	5.2	1.7	▲3.3	1.9	0.0	4.4	1.4
	投資	4.5	▲10.4	0.0	▲9.7	▲6.9	▲19.6	▲2.3	▲14.8
	雇用状況	▲26.6	▲17.0	▲51.7	▲41.3	▲30.9	▲19.0	▲32.1	▲21.6

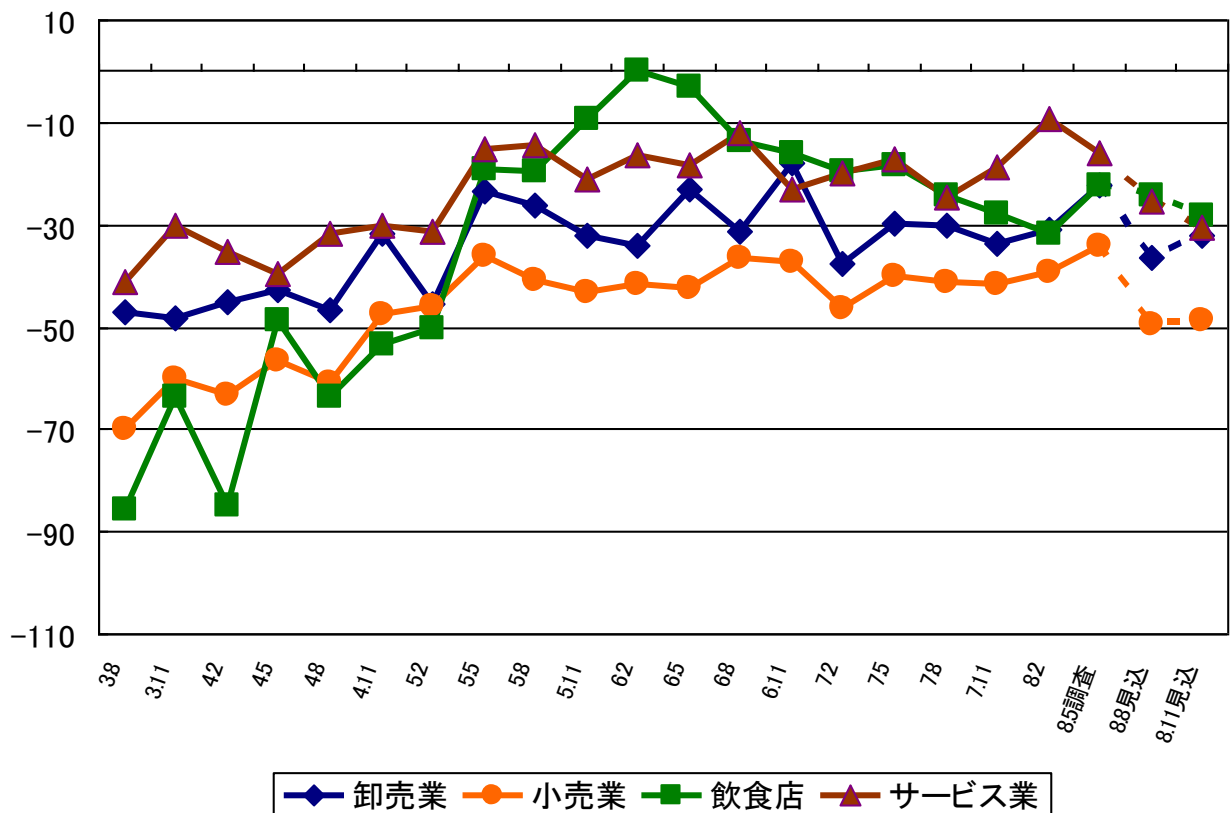
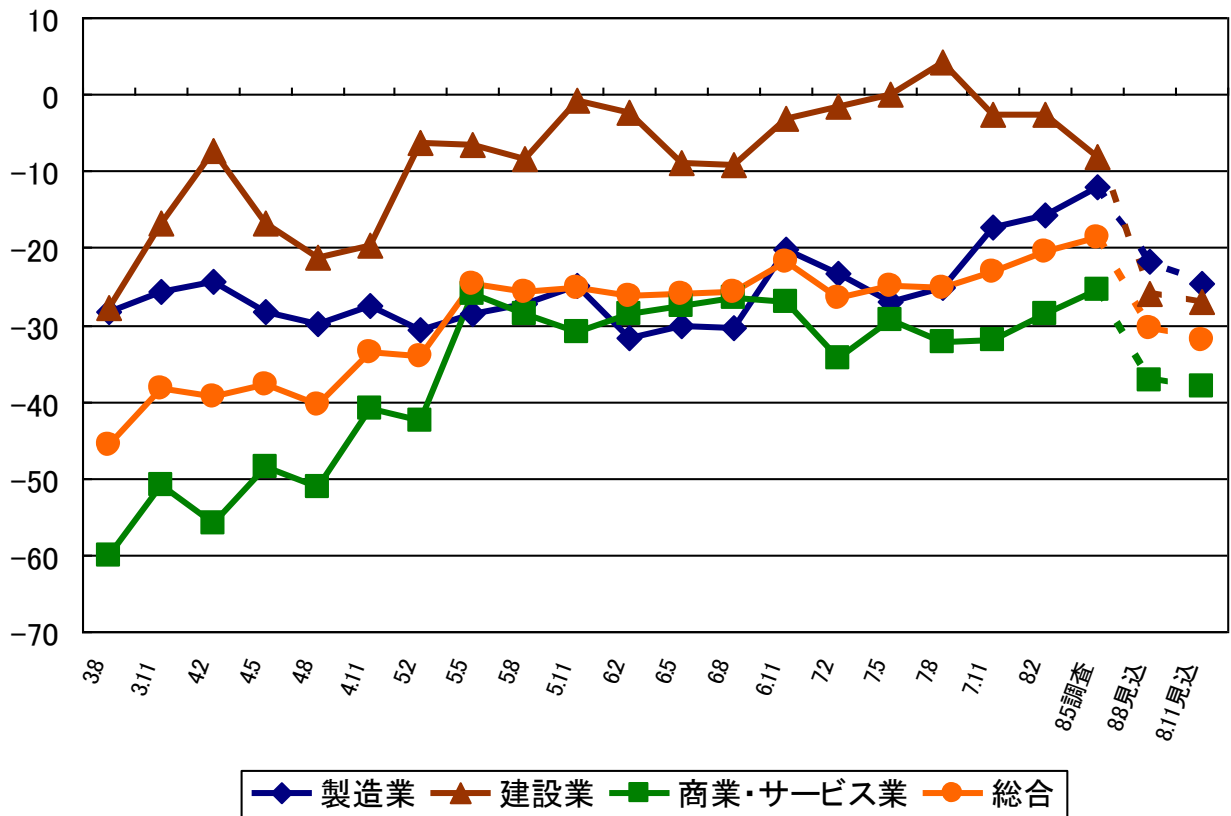
地区別DI表

		横浜	川崎	横須賀	平塚	藤沢	相模原	厚木	足柄上・西湘	総合
回収数		234	133	83	90	99	78	96	97	910
業 況 判 断	現在の業況	▲21.4	▲12.8	▲18.1	▲26.7	▲16.2	▲25.6	▲10.4	▲16.5	▲18.5
	3ヶ月後の業況	▲31.3	▲28.8	▲29.3	▲40.0	▲26.5	▲29.5	▲23.2	▲34.0	▲30.4
	半年後の業況	▲31.5	▲32.1	▲34.1	▲46.7	▲25.5	▲28.6	▲26.3	▲31.3	▲31.9
経 営 状 況	売上	▲10.7	▲13.5	▲8.4	▲26.7	0.0	▲24.4	▲5.2	▲3.1	▲11.1
	採算	▲27.4	▲24.1	▲26.5	▲38.9	▲22.4	▲34.6	▲17.9	▲24.7	▲26.8
	引き合い／客数	▲11.2	▲15.8	▲18.1	▲21.3	▲7.1	▲26.9	▲10.4	▲10.3	▲14.2
	単価	6.9	30.3	13.3	6.7	16.3	17.9	16.7	16.5	14.9
	仕入価格	▲76.4	▲80.3	▲84.1	▲80.0	▲83.8	▲83.3	▲78.1	▲76.3	▲79.6
	資金繰り	▲25.6	▲16.5	▲19.5	▲27.8	▲13.1	▲29.5	▲17.9	▲29.2	▲22.5
	残業	▲8.3	▲2.3	▲18.1	▲8.9	▲10.1	▲9.1	▲10.5	0.0	▲8.0
	設備稼働	0.9	▲3.1	▲2.9	▲19.5	▲13.3	▲14.6	1.8	▲5.3	▲5.5
前 期 経 営 実 績	売上水準	▲7.3	▲4.5	▲8.4	▲8.9	▲4.0	▲14.1	▲14.6	▲10.4	▲8.5
	利益水準	6.4	16.5	4.8	2.2	11.1	2.6	5.2	1.0	6.8
	在庫	2.2	5.3	2.4	1.1	3.1	9.1	3.1	▲1.0	3.0
	投資	▲8.8	▲9.8	▲3.7	▲16.7	▲9.2	▲3.9	▲7.4	▲3.2	▲8.1
	雇用状況	▲28.7	▲33.3	▲20.5	▲21.1	▲27.3	▲30.3	▲21.9	▲29.5	▲27.2

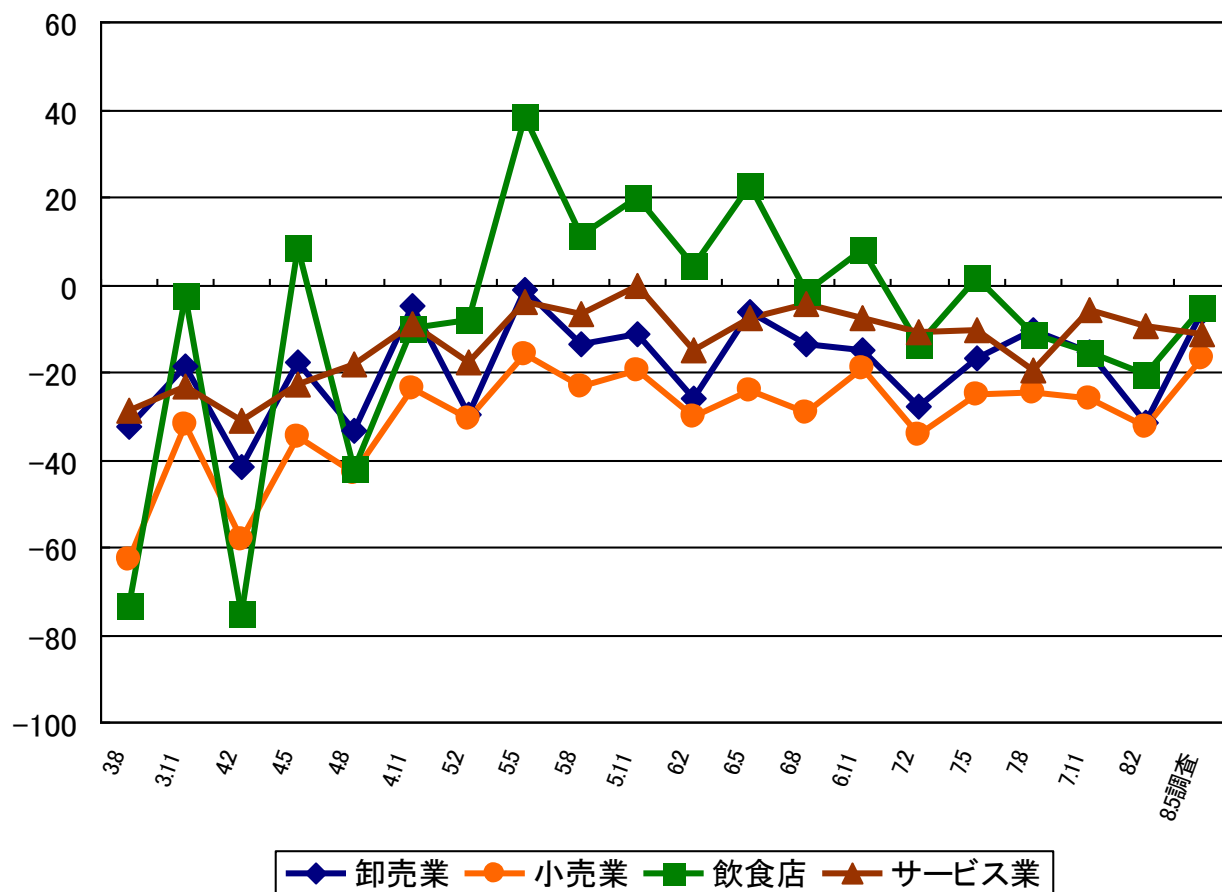
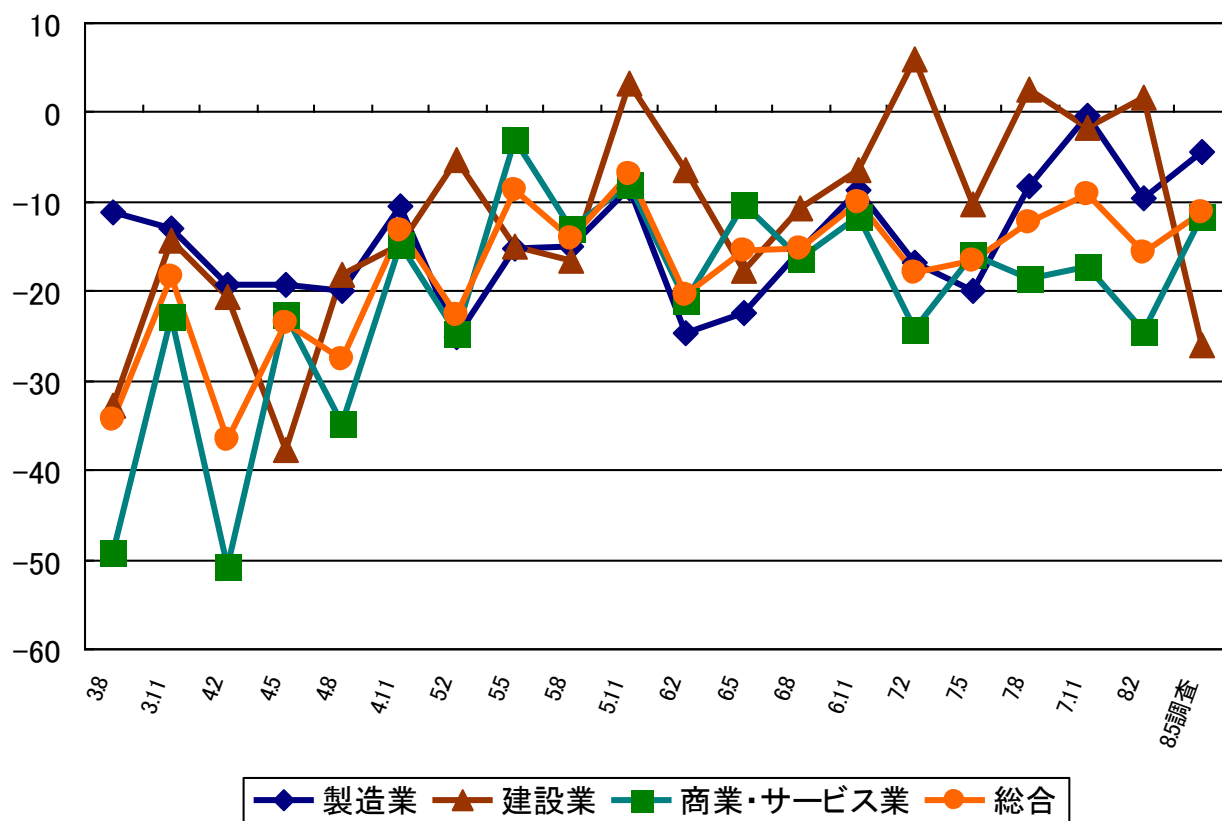
製造業中分類別DI表

		一般機械	電気機械	輸送用機械	その他	総合
回収数		83	66	47	118	314
業 況 判 断	現在の業況	▲12.0	▲9.1	▲2.1	▲17.8	▲12.1
	3ヶ月後の業況	▲18.1	▲12.1	▲8.5	▲35.0	▲21.7
	半年後の業況	▲24.1	▲9.1	▲10.9	▲39.3	▲24.7
経 営 状 況	売上	▲12.0	▲3.0	0.0	▲1.7	▲4.5
	採算	▲13.3	▲16.7	▲21.3	▲22.2	▲18.5
	引き合い／客数	▲9.6	0.0	▲2.1	▲3.4	▲4.1
	単価	24.1	34.8	17.0	23.1	24.9
	仕入価格	▲85.5	▲78.8	▲68.1	▲79.7	▲79.3
	資金繰り	▲13.4	▲13.6	▲17.0	▲22.9	▲17.6
	残業	▲9.6	▲4.5	4.3	▲1.7	▲3.5
	設備稼働	▲9.6	▲6.1	4.3	▲6.0	▲5.4
前 期 経 営 実 績	売上水準	14.5	6.1	2.1	▲17.9	▲1.3
	利益水準	28.9	22.7	17.0	2.6	16.0
	在庫	2.4	1.5	8.5	13.7	7.3
	投資	▲4.8	1.5	6.5	▲7.8	▲2.9
	雇用状況	▲26.5	▲24.2	▲26.1	▲15.5	▲21.9

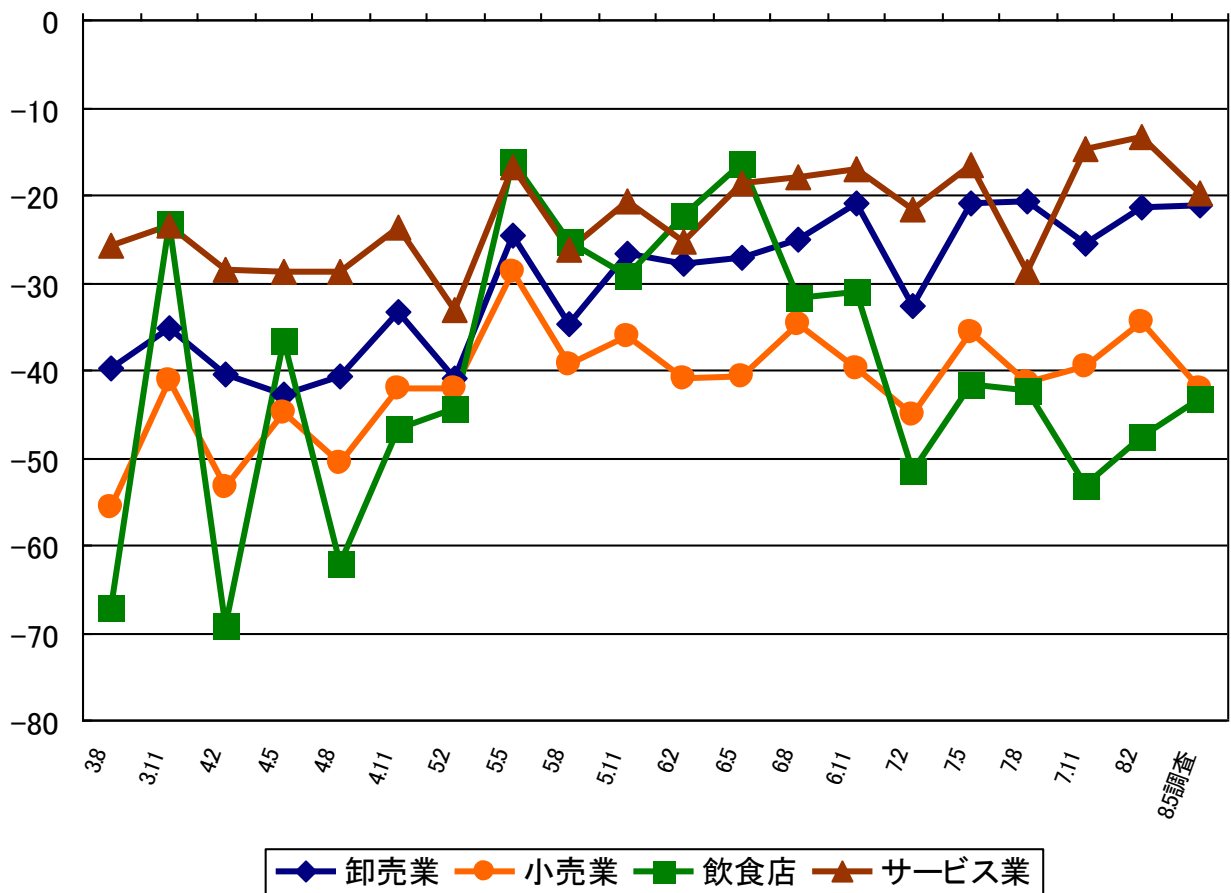
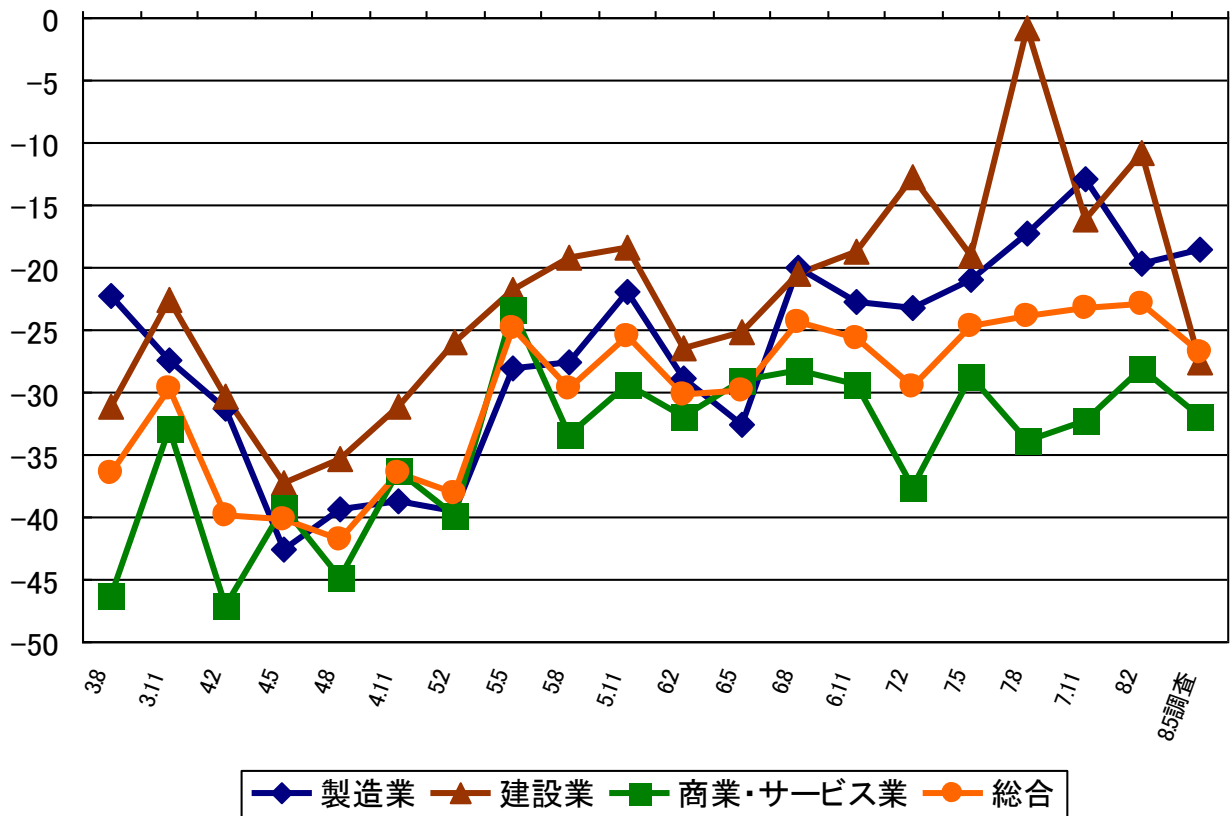
業況DIの推移



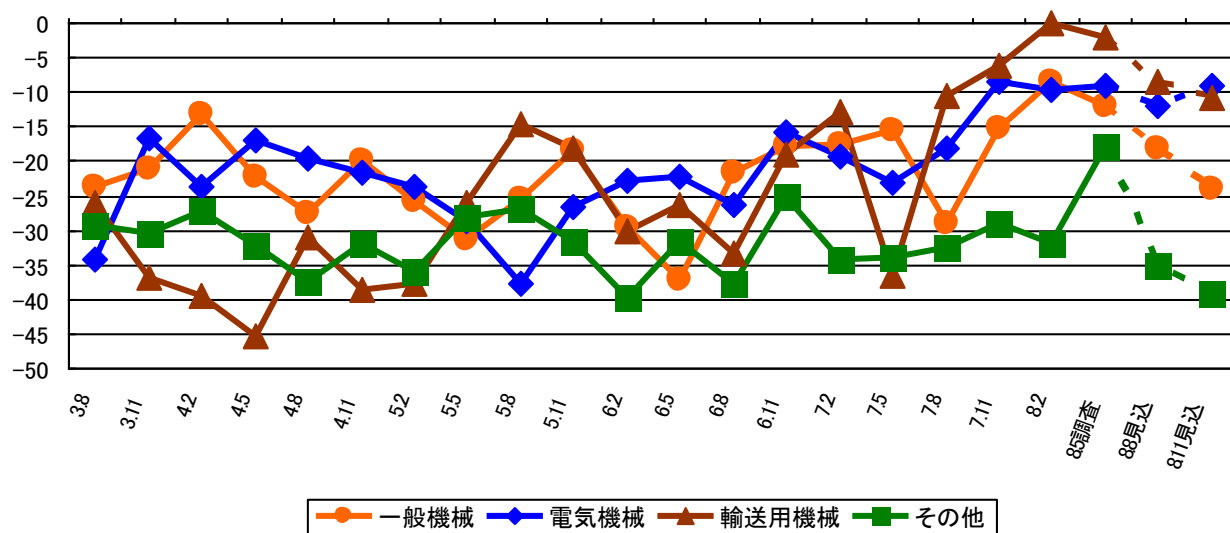
売上DIの推移



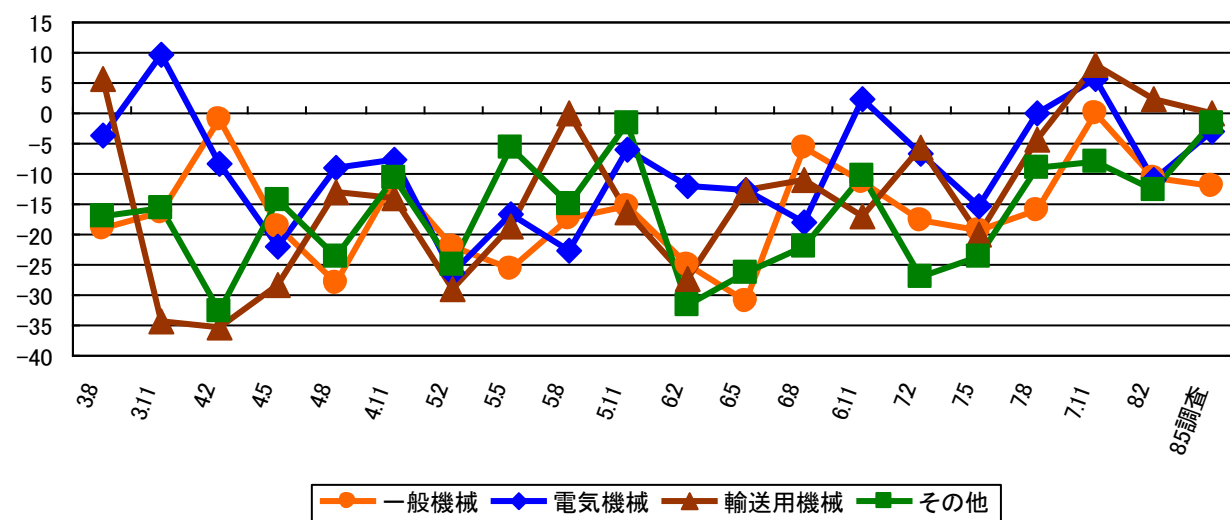
採算DIの推移



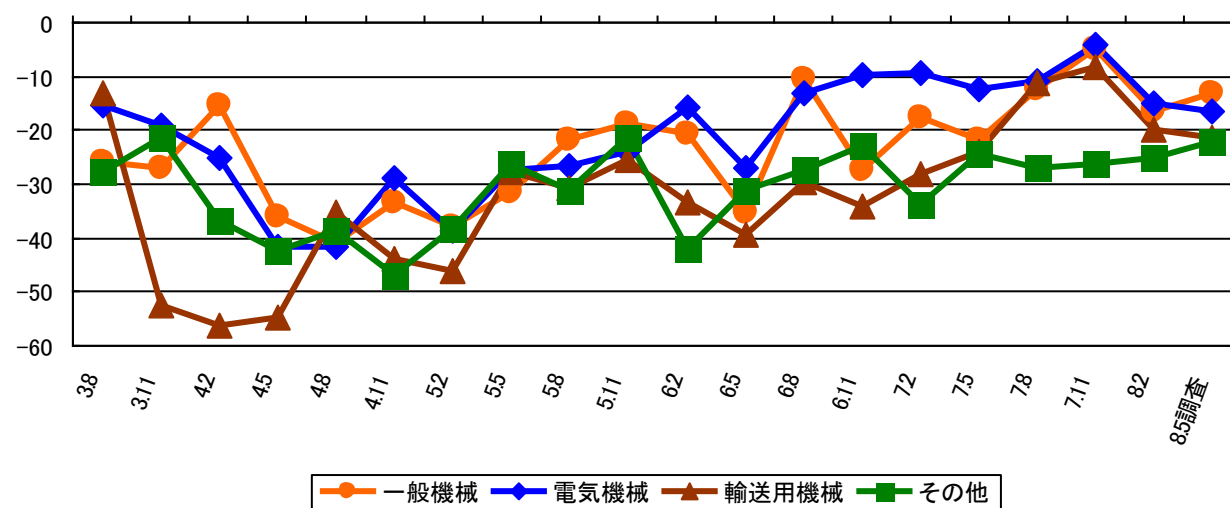
製造業(中分類)業況DIの推移



製造業(中分類)売上DIの推移



製造業(中分類)採算DIの推移



<製造業>

「材料費の高騰で費用を見直ししているが追いつかないプラス人件費も上がっているので製造コストも見直しが必要だがそこをなかなか上げてもらえないで苦しんでいる。」
「円安で海外からの受注好調。」
「現時点での業績は昨年並みであるが、中東情勢により、原油関連資材の値上げ、供給抑制が通告されており、先行きに大きな不安を抱えている。」
「中東情勢の影響で、副資材関係が手に入りにくい状態と入手できたとしても軒並み値上がりしている。まずは生産や納品に支障が出ない様、物品の確保が課題である事と、これからの価格交渉でどの程度客先が認めてくれるかが心配。」
「受注は好調であるが、消耗品・エネルギー費や運送費等が値上がりし、収益を圧迫している状況。更に中国の影響で金型の材料が入手困難となり値上げの依頼が急増している。設備に使用の油が調達できなくなっており、目途がつかない状況あり。」
「輸出（中国、ベトナム）が好調。スマホ用小ネジの金型輸出が堅調。」
「受注は好調なものの、納品が間に合わず、売上計上が遅れている。」
「材料のみならず各物価高や値上げがあり、ナフサ関連の消耗品不足懸念強く、数か月後の適正納品に影響がでそうである。」
「受注残が増加しており、今後の見通しは良い。」
「半導体業界は上向き傾向のようですが、他の製造業はそこまでではないようです。半導体の急激な上向きの影響で、素材入手などに影響が出ております。」
「塗装が制限されるなど石油関連の影響が出ている。資材価格や人件費上昇は利益を圧迫している。仕事はあるが今後の採算見通しは暗い。」
「今後の見込みでは生産増の予定ですが、中東問題等により先行きが不透明になってきております。又、副資材等の価格が上昇しており売上利益の確保の不安材料となっています。」
「半導体業界の好調から多くの案件を受注できている。」
「価格転嫁の流れがスムーズになった反面、お取引先での在庫保有をしなくなり、1週間もない短納期というところもある。発送代がかかるようになった。また、弊社での在庫保有が増加気味である。」

<建設業>

「今後、原材料費の高騰、供給不足が見込まれることから、工事の進捗に影響が出る可能性あり。」
「資材（塩ビ管）の入荷が困難になっている。資材の単価が軒並み高騰しているのと入荷ができなければ、今後工事の受注を調整しなければならない。」
「中東情勢の影響で材料の単価が、かなり上がっていて、今後どうなるか不安。」
「水道設備用の材料の入荷がなく、仕事が進まない。」
「1～3月期は年度末ということもあり受注も好調でしたが、4～6月期はイランの件で、塗料ほかの不足により施工が困難な状況になった。」
「現状中東情勢の影響が大きく、材料の手配もかなり不安定な状況です。おとしくらいからの値上げの影響で、稼働物件が少ないです。今年度は、あまり見通しいい状況ではないです。」
「当社は幸い幅広い事業を行っているが、そのうち公共工事を中心とした建築、土木事業部門は落札済み案件も着工延期、応れを予定していた案件も入札、着工の見通しが立たず、今後1年間はこの部門の業績が悪化する見込みである。」
「塩ビパイプやブルーシートなどの消耗品がなくなっている。」
「資材の不足及び値上がりにつき、人手不足のため、先が見えない。」
「中東情勢の影響で先が見通せない。4月塗装工事で早くも材料の入手に苦労した。」
「人手不足からの受注減による売上減。親会社からも、この理由から仕事量が大幅減になっている。」

<卸売業>

「同業他社の廃業により顧客は増えている。包装資材の高騰、品不足が今後影響してくる。包装資材が無ければ弊社の商品は販売できないので確保に奔走している。」
「商品の入荷が難しい状況になっている、建設工事現場においても施工部材が納品できないために、工期が遅れる懸念がある。固定費（人件費、営業経費など）支出に対して、売上高、入金遅れが発生する事が予想される。」
「イラン紛争の解決が長引くことによる景況感の悪化が懸念される。」
「中東情勢、重油関連が悪い中、また不景気気味の中、何とかご発注を頂き持続している状況です。状況が良くなり活気が出てくればもっと景気づくと思っております。早く世界の諸問題が解決されることを願っております。」
「イラン情勢の影響で 材料関係の急な値上げがあり。さらにナフサ不足で プラスチック製品、ビニール製品、塗料関係、材木合板の材料が入荷しなくなっていて、工事が止まりだしています。建設関係の会社は、半年ほど前に契約しているので、材料の高騰で材料が入荷しても工事をやればやるほど赤字になります。当然、体力のない会社は倒産、廃業が増えていくと思います。」
「当社取扱商品のメイン商品がナフサを使用する樹脂製品、屋根の下葎き材、コーキング、テープ、シンナー等なので安定して商品が入荷せず、仕事が進まず困っています。」

調査回答企業からのコメント(一部)

<小売業>

「材料や仕入れ品不足が始まっていて、この先どうなっていくのか不安です。」
「物価高騰で、販売に影響が出ています。今後の見直しも厳しいと思います。」
「仕入れ価格の上昇がなかなか売価に反映出来ず、売上減。利益率減になっております。」
「顧客数減少。(高齢化)新規客も高齢のため、客数、売上不足。」
「業界の供給力の悪化で、商品の調達が著しく悪化している。」
「売上減少の中、仕入価格の値上がりで、さらに厳しさが増している。」
「アメリカとイランの情勢により、オイル及びオイル関連の商材が入荷されないの、売上に影響される。このままオイルが不足してくるとそれに付随する業務ができない取引先が出てくる可能性があり、影響がありそうです。」
「仕入れ、消耗品、人件費は上がり続ける中、今まで数回の値上げを行ってきたが利益は圧縮されている。値上げを行った分単価や売り上げは上がっているが客数は減少傾向にある。中東情勢については、石油製品以外のあらゆる物にも影響が出ると考えられるので、先行きは不安である。」
「売上は、昨年比で多少のプラスにはなっているが、昨年5月に1.5~2割値上げをしているので、売り上げがその分プラスになっているかという点で厳しい。経営状況、5月、6月の売り上げも出ていないので、前期との比較はできません。」
「主要販売先の飲食店の不調が影響大。個人消費は微増。地域内で閉店等が多く、販路開拓が難しい。」
「販路が増えた。」
「中東情勢の影響により仕入れの高騰や、資材等の不足による受注へも影響が出ないか心配である。」
「昨年の10月にアスクルのシステムがランサムウェアに感染した影響で、売上が前年比85%前後になっている。なかなか前年比100%に戻すことが難しくかなり時間が掛かると思う。」
「仕入れ価格の上昇により、利益率は悪くなる見通し。」
「社員の高齢化に伴い、定年退職等で人員不足となっている。人が支える企業なので今後採用が課題。」
「中東情勢不安より、仕入コスト、包装費用が増加。」
「店舗出店や、催事出店により売上はアップ。他店舗のマイナスを補う形になっている。」

<飲食店>

「石油が滞ってくると、様々な物に影響が及んでくるので困ります。」
「人手不足で、営業時間を短くするしか方法が見つからない。」
「仕入れ価格が高くなっているが、値上げをしたので何とかなっている。この先、お客様が減ってしまうと厳しい。」
「個人消費が落ち込んでいる。」
「全ての食材の仕入れが高くなっていて、特に肉仕入れが上がり傾向で、今後が不安。カード払いの客が増え、資金繰りが大変。」
「メニューを限定にして、廃棄ロスを無くした。」
「上半期は、値上がり傾向にある海産物のコストや人件費が足をひばっているように感じました。それに伴い下半期は、人件費の適正化、コストを下げるようメニュー構成や販促に注力していきたい。」
「原材料費、人件費の高騰に対応するため苦慮している。」
「仕入単価の値上がりに伴い、利益の損失が発生している。」
「販売先は増加しているため、売上は増加するが、仕入価格も上がっているため、利益率が上がらない。」

<サービス業>

「最大顧客の値上げが認められず苦慮している。これが解決すれば好転するものと思われる。」
「顧客の節約ムードと高齢化のため。」
「自動車部品の不足、高値。」
「当業界、閉業が増えており、その流れは変わらないと思う。」
「少子化による採用難が顕著に出ている。」
「介護保険収入の単価が適正に上がらない限り今後の介護事業は確実に継続不可能。」
「物価高や最低賃金の上昇に加え、社会保険料や消費税、法人税等の徴収により、先行きの経営は益々逼迫せざるを得ない。」
「夏あたり電気代、重油代等の燃料高熱費高騰が見込まれる。それに加えて、夏季はお客様が減少傾向の商売なので、やはり不安。」
「板金・塗装に必要なシンナーの高価格と、品物が入ってこない。これからどうなるのか、とても不安。」
「建築に関わる材料等がすべて値上がりしていて、件数は変わらないが客単価が上がった印象がある。」
「円安により、仕入れ原価の高騰。航空運賃の高騰により、仕入れ価格の高騰。」
「物価高騰による経費の増加が変わらず続いている。」
「人手不足による受注制限が経営を圧迫している。」
「研修事業からコンサル事業にシフトすることで経営の幅を持たせる予定です。」